中城村

ぎがいだより

題字：中城小北上原分校2年　當眞　美晴

もっと　知ろう　みんなの議会

ひまわり満開
津覇っ子の笑顔も満開
（国道329号沿いのあいさつ通り）

第28号
平成23年 6月議会

一般質問

平成二三年六月定例議会

災害対策と避難経路

金城　章　議員

議員　今後の災害対策の見直しは、避難経路と場所はどうなっているか？

総務課長　沖縄県でも地域防災計画の見直しが検討されております。本村におきましても津波の高さ想定の見直しや避難経路、緊急一時避難場所の指定を各自治会長と一緒に現地踏査をしながら避難経路を定めていきたいと、考える。津覇小学校の避難経路は学校裏にある階段状で、南上原に抜ける道路の整備。中学校は商工会の隣のほうから上に抜ける道路の整備だとか、今後検討していきたい。

議員　早めの対応を計画、整備をして最短で避難できる経路をぜひ作って下さい。

庁舎建設

議員　現在老朽化した庁舎建設はどうか。建設基金の積立金は現在いくらあるか。

総務課長　庁舎建設基金は現在約一億円で平成十八年と十九年に積み立てられたもので庁舎建設の必要性は十分認識している。人口想定一万九千人から二万五千人規模で考慮すると、庁舎面積が五千七百平米で総務事業費は起債を含めて、十六億八千万円の見込み（平成十五年当時）

議員　村民の多くは、庁舎建設は早急だと言いますが、建設基金は検討できるか。

副村長　基金の積立金ですけれども、今年まで含めて、南上小学校を造るために毎年一億円積み立てていました。この事業費も全部確保できましたので、来年度以降は、その部分はいらなくなりますので、その金で積立は可能かと考えております。

地元企業育成

議員　地元企業育成をどう考えているか、村産品の優先使用・運送組合の村発注の工事での活用度はどうか。

都市建設課長　工事の際は地元運搬、土砂運搬等があれば協力するように業者の方には伝えています。

村長　村産品を優先的に、半強制的にやることはやります。村としては当然と思っています。運送組合も積極的に活用させていただきます。

ほかに防災公園問題・下水道問題・幼保育問題の質問がありました。

防災計画と吉の浦火力発電所

宮城治邦　議員

議員　台風二号により発電所工事中の現場からトタンが飛散し被害が発生。周辺住民の車等への被害総額が百万円以上と聞いてる。当局は発電所を誘致した責任と住民の生命、財産を守る立場から被害状況調査、対策をどのように講じたか。

企業・観光課長　地域住民に被害を及ぼさないよう万全な体制をとるように協議をし、誠意を持って対応するよう要請した。

議員　沖縄周辺ではM7.8規模の地震が発生した場合に吉の浦火力発電所の建築構造物又は発電所全般に係る施設・設備に関して、耐震耐火及び自然災害等に対しての安全指針は確立されているか。

企業・観光課長　津波が敷地・護岸を超える高さで発生してもLNGタンクは頑丈に作られており、影響はないと説明を聞いている。耐震設計規定に基づいて設計、設備全般的に機能上、影響ある損傷は発生しないものと考えている。安全指針については今後、村の防災計画に基づき対応する。

議員　燃料LNGは従来の石油、石炭より危険度が高いと思うが、想定できる事故は何が考えられるか。

企業・観光課長　液化天然ガス漏れが想定され、それは防液堤により敷地外への流出を防ぐ役割を果たしている。しかし、危険物の流出により、火災、爆発等が想定される可能性もあると認識している。

議員　二〇〇五年一月に米国のアルジェリア液化天然ガス施設で漏れたLNGにボイラーの火花が引火して爆発を起こし、三十人が死亡する事故が起きているが、当局は承知しているか。

企業・観光課長　インターネットを見て承知している。

議員　地元久場・泊地区における地域振興策計画では発電所建設に伴い、地区の農地保全道路に結ぶ歩行者道路が計画されていたが、災害時の避難道路としても活用できると思うが、実施計画はあるか。

企業・観光課長　この計画の位置づけは、現況の『緑の道』、歩行者の道としての位置づけをしている。確かに防災的に利活用するのであれば整備は必要と考えます。

議員　東日本大震災による福島第一原発の放射能漏れの事故は、対岸の火事ではなく、吉の浦火力発電所においても地元の安心・安全を担保する意味からも、学識経験者を含む、第三者協議会を設置する考えはあるか。

企業・観光課長　沖縄県、中城村、電力との間で、昨年締結した環境保全協定書において問題発生時に立ち入り調査も可能です。必要があれば検討する。

台風2号の被害状況

新垣博正議員

議員　県全体の農作物被害額が七十億円程度と試算されているが、本村域の被害状況をどのように把握しているか。

農林水産課長　サトウキビ六四トンで一四三万円、野菜一六〇トンで三、三二六万円果樹関係で五トンで七三〇万円。合計四、二〇七万円の被害が出ている。その他、被害額は把握していないが、ビニールハウス等の農業用施設等の被害も見受けられる。

耕作放棄地再生利用対策

議員　農水省補助による再生事業の活用実績はあるか。

農林水産課長　前年度実績で新垣地内において一件、面積で一、四〇〇平米の再生事業を実施した。十二万円程度で三分の二補助です。

議員　村民への周知状況及び農地バンクの登録件数は。

農林水産課長　あまり周知されていない実感があり、ホームページや広報誌等を活用し事業内容の周知を考えていく。農地バンク登録は売りたい人三件、貸したい人はなしです。

村長　従来のやり方を変えて当局が積極的にかかわっていきながら地主へのアプローチも広げていく。

災害対策

議員　東日本大震災の教訓を今後、どのように活かすかが問われてくると思いますが、本村南側に「南西石油基地」北側に「吉の浦火力発電所」が立地していますが、地震、津波対策等のリスク回避に向けての協議がなされているか伺います。

企業立地・観光課長　危険物の流出、火災、爆発等が想定されるが、防災訓練、防災教育を徹底し安心、安全な暮らしを確保できるよう協議している。

地域の沖縄戦の教材化

議員　県内自治体の半分以上が沖縄戦編を市町村史に編集されているが、歴史書として果たして村民に読まれているだろうか。恐らく活用されてないと思われる。沖縄の歴史にとって「沖縄戦」は欠くことのできない体験である。次世代へ実相を伝える意味からも、「地域の沖縄戦」の教材化が出来ないものか所見を伺う。

教育長　「戦争体験編」がまとめられており、もっと活用していかなければならない。ぜひ教材化に向けて取り組みたい。

最悪な待機児童の状況

仲眞功浩議員

議員　村長公約の一丁目一番地である「認定保育園制度の導入」、「公立保育所への入所待機児童ゼロ（0）」の対応はどうなっているのか。

村長　村長に就任後、真っ先に取り組んだのが子育て支援です。第三子からの三人目の子供への保育料の無料化だとか、待機児童家庭への助成金も制度化をさせていただきました。

福祉課長　認定子ども園はまだ設置されておりません。平成二三年度の本村の待機児童数は三八人となっておりますが、現在の公立保育所での受け入れはできない状況です。

議員　過去五カ年間で一番多い待機児童の数です。待機児童「ゼロ」どころかどんどん増えている。何も対策がとられていない。支援策はいろいろやられていると思うが、見直しとかもやられてなく待機児童は最悪まできている。村長は村立保育所の入所待機児童をゼロにすると強くアピールしたわけですから、これは村立保育所をあと一つ作るとか、あるいは認可保育所ができるんだろうと思うのが一般的な考え方だ。財政的に余裕があれば村立保育所をつくりますとかそういうことじゃない。村長に就任したら村長の政策としてできるものと期待するのが一般的な保護者の考えだと思います。しかしこれまでそういう努力が見られない。そして待機児童が最悪の状況まで来ているのが実態である。村長は公約したからには、四ヵ年で努力して減らしていかなければならない。やり方を変えるのであれば、来年の村長選挙で掲げて、そこでもう一回審判を仰いでそれを進めていくのが筋である。

幼稚園の建設

議員　村長は教育委員会から南上原小学校(仮称)に併設して幼稚園を建設するよう提言されておりますが。

村長　物理的に無理だという話をさせて頂きました。要望書の中では上地区に一カ所、下地区に一カ所設置し幼稚園教育の充実を図るということで、必ず併設をしなさいということではなかった。

議員　教育委員会もできれば併設が望ましいと要望している。地域の皆が上地区に幼稚園の建設の必要性を感じている事を認識して頂きたい。

中城公園整備事業の進捗状況

新垣徳正議員

議員　事業の終了年度はいつ頃か。

都市建設課長　当初、平成二三年度終了予定でしたが、県担当課によると平成二八年度まで事業計画が変更された。

議員　用地取得、ホテル跡、普天間自校等の状況は。

都市建設課長　用地取得は現在八五％取得、ホテル跡については地権者との折り合いが付かず進展していない、普天間自校に関しても用地確保に困難をきたし進展がみられない状況です。

議員　地理的関係上北中城村との連携強化が求められると思うが。

都市建設課長　県中部土木事務所を中心に中城公園整備促進連絡協議会があるが、現在休眠状態である。

議員　公園整備修了後、観光関連事業をどのように展開していこうと思うのか、その将来像及び展望は。

企業・観光課長　県営中城公園整備事業は中城城跡を核として沖縄の歴史、文化、自然を積極的に体験、学習できる事を目的としたものである。歴史資料館など、魅力ある施設が整備できれば、おのずと公園に来られる客を城跡に導くアプローチとしての位置づけが出来ると思う。その後の展開としては、中城城跡を始めとした村内の史跡、文化財や伝統芸能を披露したり、観光客に向け情報を提供していけたら、尚一層の誘客に繋がると認識している。

本村の災害対策

議員　それぞれの対策が急がれると思うが。

村長　本村は八キロにも及ぶ海岸線を有しており、津波に対しては大変厳しい状況に有る。前にも答弁させて頂きましたが、避難経路を何としても整備していきたい。また避難タワーも含め箱モノで対処できるのかどうか、いろいろな複合施設での対応を考えている。土砂災害についてはある程度のめどが立ったといいますか、国の直轄事業の一環として、地すべり対策の調査費用に四、五〇〇万円計上されています。今後とも国としっかり連携を取りながら土砂災害対策などについての要望していきたい。

議員　毎回台風後の飛散物処理に、地域住民の方々が大変苦労しています。その回収を行政が担えば大変助かると思うが。

住民生活課長　緊急事態という事で、年に何回有るか無いかですので今後の検討課題だと認識しています。

再生可能エネルギーの活用

伊佐則勝議員

議員　新設の南上原小（仮称）に太陽光発電システムの設置導入を検討しているか。

教育長　設置導入の検討はしましたが、設置致しません。省エネ対策として都市ガスを利用した空調設備の導入、雨水利用の施設整備、ＬＥＤ機器の設置等を検討しております。

議員　政府の「低炭素社会づくり行動計画」の閣議決定がなされ、関係省庁連携のもと、平成二十年十一月に「太陽光発電の導入拡大のためのアクションプラン」がとりまとめられました。文部科学省においては、「スクール・ニューディール」構想を提唱し、その中で、学校への太陽光発電の導入拡大をはじめとしたエコ化を強力に推進し、各地方自治体の積極的な取り組みと、学校・地域の環境エネルギー教育と理解が広がるよう、円滑な導入を支援することになっているが、財政的支援の現状はどうか。

教育総務課長　支援事業としては、現在二分の一の国庫補助があります。平成二一年度補正予算で、従来の国庫補助に加え、地方向けの地域活性化経済危機対策臨時交付金の財政支援があり、教育委員会としては、「スクール・ニューディール」構想の中で小中学校のＩＣＴ環境の整備を高率補助活用で優先して推進してきました。

議員　現在、県内の小中学校で太陽光発電の導入整備をしている学校数は何校あるか。

教育総務課長　県内で導入している学校数は、小中学校四一七校のうち四一校が設置済です。

議員　導入している学校については、発電容量の違いはあれ、校内の一部消費電力の賄い、省エネ表示板の設置など理科等の学習に活用し、自然エネルギーの概要を理解させ、環境に対する意識向上が図られているとの報告もあります。発電容量を工夫しながら初期投資経費を抑えるなど、教育的見地から再検討を願いたい。

次に住宅用の太陽光発電システム等の設置に関し、本村独自の補助制度について村長はどう考えるか。

村長　エコ化の啓蒙活動も含め、補助制度導入についても前向きに真剣に考えていきたいと思います。

消防の広域化

安　里　ヨシ子　議員

議員　消防の広域化で住民サービスはどうなるか、地域の抱えている諸問題が把握できるか、地域消防団とのかかわりやコミュニティが薄れはしないか。広域化の狙い等について伺います。

村長　両村法定協議会に参加しており、住民サービスは必ず良くなっていくと思います。

総務課長　中北消防は、合計四十六名体制で、出動件数一六一六件、到着時間九・一分、協議会では今まで通りのサービスが行える仕組みを構築することになっている。メリットとして、指揮命令系統が明確になり、消防運用の効率化がはかられる。人員配備の効率化と充実がなされる。救急業務や予防業務の高度化、専門化が図られる。小規模では、出動体制、保有する消防車両や専門職員の確保に限界があり、財政面の厳しさもあり、体制として十分でない。行政上のさまざまなスケールメリットを生かし、これら諸課題が解決できると認識しています。

災害に強い村づくり

議員　大地震、大津波、原発事故、風評被害と四重苦の中にいる福島県、その県民の再三の申し入れを無視してきた事が今度の重大事故に繋がった。想定外でなくまさしく人災であり、安全神話を振りまいてきた東電と政府の責任は重大です。歴史の教訓にてらして防災全般の見直しが必要と思いますが。

総務課長　本村でも防災計画、ハザードマップの見直しを行っていきたい。

教育総務課主幹　各学校年二回地震、火災避難訓練をやっている。今回の東日本大地震で津波への対応策が不十分という事がわかり対応策を講じている。

議員　沖縄電力に対し徹底した情報公開を求めるべきと思いますが。

企業・観光課長　県と村、電力で環境保全協定を結んでいる。疑問があればいつでも立入り調査は可能。

議員　高齢者、弱者対策をどのように考えるか。

福祉課長　個別リストを作って対応、防災計画も見直す予定ですので、具体的方法についてしっかり盛り込んでいきたい。

公共施設の維持管理

新　垣　光　栄　議員

議員　施設維持管理計画書は策定されているか。

教育総務課長　策定されていません。

議員　津覇小駐車場河川フェンスの件で、抜本的な安全対策が取られていないが。

教育総務課長　早急な対応をしていきたい。

議員　野球場のベース、管理棟のドアノブ、分電盤の壊れを認識しているか。

生涯学習課長　早めに対応していきたい。

議員　財政が厳しいからこそ計画を立て、きめ細かな修繕・維持管理を行い大きな改修工事にならないよう、しっかりやって頂きたい。

防災計画の見直

議員　見直しは、一年以内なのか、半年以内なのか、具体的な答弁を。

総務課長　今年度中にやっていきたい。

議員　各学校の避難経路の整備、海抜表示も早急に予算化し、防災教育、避難訓練をしっかりお願いします。

地元優先発注

議員　地元企業への優先発注及び受注拡大をどのように考えているか。

村長　議員のおっしゃるのは当然、要請に応じて行こうと思います。

議員　技術者のいる業者は、進捗率五十％の指名削除要件を撤廃して頂きたい。

村長　しっかり考えていきたい。

日米地位協定の改定

議員　米軍属の運転による交通事故で亡くなった「與儀功貴君の遺族を支える会」共同代表が被害者の学友、新垣翔士君で本村出身であり不平等な地位協定の改定要請に私も一緒に取り組んでいます。このような地位協定をどのように思うか。

村長　日本国全体の問題であり、保革を越えて取り組めるものだと認識しており、我々も行政として、一政治家として地位協定の改定に向けて頑張っていきたい。

教育長　強い憤りを覚えます。このような不平等な地位協定は一刻も早く改定する必要があると考えます。

議員　自分の立場になって、村長が取り組んで行くとの事ですので、心強く思っています。ある方は、地位協定の被害は人災である。人災以外の何物でもない。人災であれば何かが出来ると言っています。不平等な日米地位協定の改定に向けて皆さんと行動を起こしていけることを願っています。

村道大瀬線の諸課題

与那覇　朝　輝　議員

議員　原建設工業前の交差点の現状をどのように認識しているか。

村長　週に何回か通っているが、その度にどきどきさせられ多少のストレスを感じている。利便性は向上しても安全性に問題があり、村としてもできる限り改善していきたい。

議員　信号機設置交渉はどのようになっているか。

住民生活課長　その交差点は、非常に危険な場所と認識しており、二十一年八月、自治会よりの信号機設置要請もあり、翌月宜野湾署に要請を行った。今年六月にも再要請をしており、機会あるたびごとに口頭でも回答を要求しているが、なかなか進展がない。

議員　交差点の改良や破損したフェンスの改修はどのように対応するか。

都市建設課長　フェンスの改修については、西日本高速道路の道路管理担当者に早急に対応するよう連絡してあり、また交差点については、中央分離帯内の電柱の移設等を協議し、道路拡張を考えていきたい。

議員　滑る歩道の廃水処理対策はどのように考えているか。

都市建設課長　国の会計検査も終了しており、特にコケが多く発生した箇所から年次的に道路維持管理費で排水溝の設置をしていきたい。

テレビの受信障害

議員　地デジ化に伴うテレビの受信障害への対応はどのように考えているか。

企画課長　現在のところ村民よりヘリコプター飛行に伴う受信障害という直接的な苦情は受けてない。その事実が確認されれば、当然村としても防衛局との協議等改善に努めていきたい。

県営公園内へのゲートボール場設置

議員　去る六月、自治会より要望したゲートボール場設置について県との交渉はどのようになっているか。

都市建設課長　中城公園整備促進協議会の今年度の会合で地域からの要望として伝えてあり、また県土木建築部との行政懇談会でも要望しており、県も検討すると約束している。

区画整理事業

仲　座　　勇　議員

議員　歩道整備（舗装、街灯）について伺います。

都市建設課長　サンエーから終点の真栄城カジマヤーまでは今年度と次年度平成二四年度施工し、完成を図ってまいります。

議員　南上原分校前の歩道のインターロッキング舗装についてはどうか。

都市建設課長　雨が降るたびにコケがはり、子供達が滑る危険性があるため、ジェッター等でコケを落とす作業を行っていますが、今年度から小学校建設を着工し外構工事を行う後は改善されると思います。

議員　区画整理事業地内道路の信号機及び道路標識等の設置についてはどう考えるか。

住民生活課長　信号設置は非常に厳しいので、その間は警戒標識、立て看板等で注意を促すように対応していきたい。

議員　区画整理内の歩道整備におけるガードレール設置について伺う。

都市建設課長　糸蒲公園前、変電所前及び小学校前については防護柵等が必要と思い検討を行ってまいります。

南上原小学校（仮称）

議員　教育環境（人材、安全、安心、エコ）等を伺う。

教育総務主幹　地域保護者から信頼される学校、地域と連携した開かれた学校づくりが必要となります。地域の力を学校運営に生かしていくことが必要となり、連携したい。施設面は耐震性の確保、事故防止対策等は最優先事項であり、監視カメラを導入します。日照、採光、通風を配慮し、障害を持った人にも優しいバリアフリー化、シックハウス対策等を考えています。

議員　第四次総合計画に幼稚園設置の計画検討を要望するが。

村長　南上原小学校への幼稚園の併設は物理的に無理、資金投下も含めたいろいろな問題が生じてまいります。

教育総務課長　幼稚園の計画は検討してない。民間力を使った形で補完し、国の幼保一体化による認定子ども園などの保育を含めた部分で考えている。

議員　幼稚園不設置の件で教育委員会の考えは。

教育長　小学校敷地内での幼稚園建設については地形、校舎、体育館の配置等を検討してまいりましたが、面積的に無理があり、併設して設置ができないとの結論になりました。

議員　改めてお願いします。設置に向けてぜひ頑張っていただきたいことを希望しております。

環境行政

新垣健二議員

議員　津覇地内の一部が公共下水道の整備がなされてないが未整備の理由は何か。

上下水道課長　あの区域は当初下水道計画がなされておらず今後、区域の下水道の量を算出しまして、和宇慶地区と津覇地区に分けて編入していくことができます。編入時期に関しては変更認可計画を県と協議しながら進めていきたい。

議員　国道三二九号線における国道事務所の街灯の整備計画は。

都市建設課長　津覇小学校前におけるT字路に照明等を三基、今年度で設置する計画を聞いております。

議員　国道三二九号線は津覇小学校の通学路にもなっており、前年度は除草作業が少なく、子供たちの通学にも支障をきたしております。学校周辺の除草作業を増やすよう要請できないか。

都市建設課長　連絡があれば早急に対応するということであり、担当課としてはパトロールをしながら国道事務所と密に連絡をしていきたい。

入札制度

議員　入札に関する事務作業の流れを具体的に説明を伺う。

総務課長　まず事業執行担当課より、選定依頼を受けまして、指名委員会へ諮問をいたします。そして工事ごとに業者を選定して指名委員会から村長に答申をするという手順になっております。

議員　審査委員会に上げる名簿づくりはどのようにやっているのか。

総務課長　総務課の担当部署で素案はつくっております。

議員　その際、所管課、あるいは三役などから今回の工事にこの業者も名簿に入れてくれというようなことはできますか。

総務課長　基本的にはございませんが、特殊性がある場合は推薦という形であります。

議員　最低制限価格は事前に村長が設定しているのか。それとも入札者の前でランダム方式とかの何らかの方法で設定しているのか。

副村長　村長が事前に設定したのを私が預かって入札日の朝、開封しています。

議員　入札者の前で何らかの方法で設定することは取り入れられないか。

村長　今現在においては我が中城にはそぐわないという気はいたします。

議員　入札制度は非常に敏感な分野であり、少しでも透明で公平性のあるものに改革をしていただきたい。

墜落死亡事故多発の「MV22オスプレイ」配備に明確に反対の意志！

意見書第6号&決議第7号　採択

米海兵隊の垂直離着陸輸送機「MV22オスプレイ」の普天間飛行場配備計画に反対し、撤回を求める意見書及び抗議決議（第5回臨時議会　平成23年7月20日）

◀オスプレイ爆発炎上する

オスプレイ過去の墜落死亡事故

1992年	7人死亡（アメリカ）
2000年	19人死亡（アメリカ）
	4人死亡（アメリカ）
2007年	実戦配備
2010年	4人死亡（アフガニスタン）
計34人死亡	

平成25年度の開校に向けて

南上原小学校（仮称）校舎建設工事契約を可決

人口増加率の著しい南上原地域に「南上原小学校（仮称）が開校する。長きにわたり津覇小学校の分校歴史に幕を閉じる。そして新たに“本校化”に向け校舎建設工事が開始されます。

案件によっては、最低制限価格を下回り失格となった事業者の多さを指摘する意見もあり、今後の入札制度のあり方を精査研究する必要がある。

以下、6議案の工事請負契約が平成23年8月16日の**第6回臨時議会**で可決されました。

議案第26号　可決　**校舎棟建築1工区**　4億8,268万5千円

議案第27号　可決　**校舎棟建築2工区**　2億1,304万5千円

議案第28号　可決　**校舎棟機械設備**　1億1,256万円

議案第29号　可決　**校舎棟電気設備**　1億37万7,900円

議案第30号　可決　**屋内運動場建築**　2億2,991万8,500円

議案第31号　可決　**校舎等・屋内運動場杭工事**　9,975万円

写真：普天間基地から離陸する米軍機

写真：「日米関係のなかの基地問題」と題し講話する
琉球大学法文学部教授我部政明 氏

研修会レポート

基地押しつけの“沖縄依存”

平成23年
8月18日（木）

わが国の安全保障政策のあり方を問う！

恒常化する米軍人、軍属から派生する事件事故。日米地位協定の壁に阻まれ、県民の人権が幾度と無く踏みにじられてきた。これまで県議会や各市町村議会では絶えず抗議決議、意見書を採択し、関係機関へ改善を求めてきた。それでも一向に変わらない。この苦悶する現状をどう打開できるか。基地の集中する中部地区町村議員・議会事務局職員が一同に会し本村の吉の浦会館大ホールで研修会を開催しました。

POINT 米軍人犯罪の特徴

1. 基地内で起こった犯罪は数に含まれていない。
2. 被害者は常に沖縄県民（日本人）であり、民間人が米軍人に対して犯す犯罪は皆無に等しい。
3. 軍人、軍属という公職に就く人の犯罪である。

編集後記

村民の皆様、暑さ厳しい此の頃ですが、如何お過ごしでしょうか。

今後とも村民皆様方の御理解、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。さて、議会だより第二八号をお届けします。今年は台風の当たり年なのか、五月の二号台風、八月の九号台風は県内に大きな被害をもたらしました。本村も例外ではありません。特に農作物への被害は甚大で農家の皆様の落胆はかなり大きなものかと、お察し致します。

本村議会に於いても、各議会一般質問の中で、被害を被られた村民の皆様の、負担軽減にいくらかでも繋がるような対策を講じていきたいと、災害対策や、その対応策など、村当局執行部と議論を重ねて居るところで御座います。

その様子も、議会傍聴という形でご覧頂けますので是非、議会へ足を運んでくださり、活発な議会活動をご覧頂ければ議員一同、尚一層活動の励みになりますのでよろしくお願い致します。

（新垣　徳正）

議会だより編集委員
新垣博正　新垣徳正　新垣光栄　伊佐則勝　仲眞功浩　金城章

お詫び

議会だより第27号で平成23年度の特別会計、水道事業会計予算で予算額が「補正額」となっていますのは「総額」の誤りでした。訂正してお詫び致します。

題字募集！「ぎかいだより」の題字の募集をします

（ぎかいだよりの文字を横書きと縦書き）

中城村の児童・生徒のみなさん、上手いも下手も関係ありません！あなたの字のままでいいんです。

お問い合わせは中城村議会事務局（☎895-4318）まで

〒901-2493 沖縄県中城村字当間176番地　TEL895－4318　FAX895－4358　発行／中城村議会　編集／編集特別委員会　印刷／沖印社